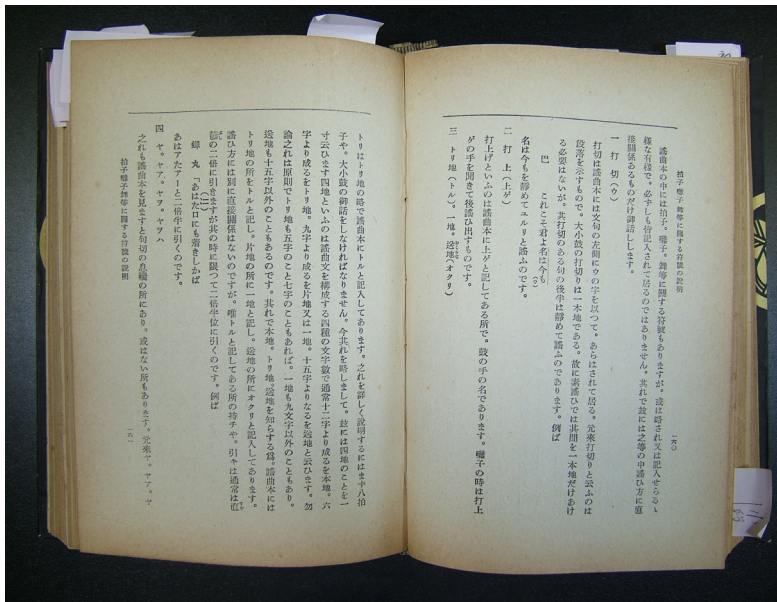


正田梅香 『謡と能の手ほどき』

謡と能の基礎知識を記す便覧。歌い方の説明もあるが、拍子についての記述はほとんどない。写真下は「拍子 囃子 舞等に関する符号の説明」という節の一部分。「十二より成るを本地。六字より成るを下り地。九字より成るを片地」等とアバウトな説明です。まず点に、謡学習者の間における、拍子への関心度の低さが伺えよう。また、間についても「ヤとある時は。其句の最終の字の産字を直節一つだけ引き。ヤアとある時は二つ」云々と、これまた徹底してアバウトであるのは、ある種の見識ともいえるか。



標題 内題…謡と能の手ほどき

標題紙…能と謡の手ほどき

奥附…能と謡の手ほどき

その他…謡と能の手ほどき(目次・巻末・

表紙・背)

著者 奥附…正田梅華

その他の場所…正田梅香(標題紙・巻頭・

表紙・背)

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…金竜堂出版部

出版年…昭和14(1939)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…三五四頁

寸法…19×13(cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 正田梅華関(巻頭)。